

目次

■ 平成30年第1回臨時会【8月】… 2

■ 平成30年第3回定例会【9月】

人事・陳情・提出議案・補正予算 … 2～3

平成29年度歳入歳出決算の認定

監査意見書(要約)・決算認定の主な質疑 … 4～5

■ 一般質問 …… 6～10

■ 議会トピックス …… 11

■ 特別企画「あの質問はどうなった」… 12～13

■ 委員会報告(行政視察)… 14～15

■ 議会だよりギャラリー …… 16



力強く選手宣誓 ～下郷町小学校陸上大会～

8月6日に臨時会が招集されました。
専決処分の承認と平成30年度一般会計
補正予算の2件が、町長より提出され可決
しました。

第1回 臨時会

専決処分の承認

消防操法県大会に向けて
202万5千円増額



南会津郡を代表し県大会で健闘した大内班

福島県消防操法南会津地方
大会小型ポンプ操法の部で大内
班が見事優勝し、南会津郡を代
表して県大会出場が決定した。
これに伴い、消防費202万5
千円を増額（消防団員の出勤手
当約94万円、大会出場旅費約21
万円、自動車借上料約25万円な
ど）、予備費で調整し、歳出予
算の総額に変更はない。

一般会計補正予算

林道大峠線の災害復旧工事
入札が不調 工法を変更し
4百万円増額

林道大峠線の災害復旧工事は、
7月の指名競争入札で不調とな
った。
当初採用した「積ブロック工
法」は、一般的な工法である。
今回の現場は、狭隘急峻な条
件下で、人力による施工も多
い。そこで、機械による施工量
を多くし、作業効率性と安全性
が確保できる「L型擁壁による
施工」に工法を変更した。
事業費4百万円を増額（6月
定例会では7百万円議決）、予
備費で調整し、歳出予算の総額
に変更はない。
この臨時会で議決後、入札を
行い8月31日に工事請負契約を
締結し、9月3日に着工となっ
た。

※不調……予定価格の制限の範囲内の入札がないため、入札行為を終了させることをいう。

9月定例会

人事

再任

人権擁護委員に

神田 隆宏氏

（倉水）

の推薦に同意

陳情

◆地方財政の充実・強化
を求める意見書の提出

▽陳情者

南会津町田島字後原甲35

3111

日本労働組合総連合会福島

県連合会南会津地区連合会

議長 渡部 英明他1名

▽審査結果 採 択

（総務文教常任委員会付託）

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書
を提出することを議決した。

9月定例会は、7日から14日までの8日間の会期で開かれました。

今定例会は、報告2件、決算の認定、人権擁護委員の推薦、平成30年度補正予算など、町提出議案9件、議員提出議案1件はすべて可決しました。

9月定例会



平成30年度一般会計補正予算

1億9197万4千円を追加補正
総額 49億5760万6千円に

9月補正の主なもの

▼歳入

地方交付税（普通交付税）	66,329千円
子どもための教育・保育給付費国庫負担金	5,604千円
中山間地域所得向上支援事業補助金	10,000千円
前年度繰越金確定額	100,127千円
町債（臨時財政対策債）	5,528千円

▼歳出

消防費（被服費）	3,909千円
簡易水道事業特別会計繰出金	5,282千円
湯野上駐車場改修工事	7,997千円
有害鳥獣対策事業補助金	1,512千円
中山間地域所得向上支援補助金	10,000千円

消防団員へ
活動靴支給

全会一致で決算を認定

▼平成29年度歳入歳出決算額

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
一般会計	4,897,710	4,555,284	342,426
特別会計 (6件)	2,187,878	2,083,105	104,773
合 計	7,085,588	6,638,389	447,199

決算の結果に対する 監査委員の意見 (要約)

【総括】

いずれの会計も決算額は、関係諸帳簿及び諸書類と合致しており、計数は正確であると確認した。

厳しい財政状況の中、町税等の自主財源の確保など安定した財源の確保に努め、柔軟に事務事業を見直す姿勢を持ち、限られた予算で最大の効果を発揮され、「美しく輝く笑顔あふれる交流のまち」として成長し続けることを期待するものである。

■経常収支比率は

一般・特別会計を含めた単年度収支は、前年度に比し大幅に減少している。また、財政の弾力性を示す経常収支比率も前年度の80・6%から84・5%と硬直化が見られ、今後も注意が必要である。

■財政運営状況は

財政運営の状況を示す基本的指標のひとつである経常一般財源の収入額は28億80364千円で、前年度より75689千円(2・6%)減少している。今後も自主財源の確保と経費削減に取り組んでほしい。

■公債費は

一般・特別会計の公債費残高は、28年度に比し減少している。財政健全化判断比率での実質公債費比率は前年度の4・9%から5・2%となり、今後も起債導入には計画的な取り組みが望まれる。

■債権の整理は

使用料等の不良債権が年々積み上がり、その管理に労力を奪われ悪循環となっている。



決算監査を行う渡部代表監査委員と星監査委員

しかし水道使用料収納対策は、給水停止を行うなど改善の傾向が見られた。

住宅使用料は、滞納額は依然として増加傾向にあり、法的措置に至るまでの対応はスピード感に欠けると言わざるを得ない。督促や催告も検討して事務を適性かつ円滑に進めていただきたい。また、税務徴収嘱託員制度の導入も検討し、各公共料金における部分も含め雇用について調整を図り、税負担と使用者負担の公平性の確保に努め、積極的に進めていただきたい。

※経常収支比率……人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費に、町税、普通交付税等を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているのかをみることにより、財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられている。比率が低いほど臨時的財政需要に対して余裕をもつことになり弾力性があることになる。

こんな質問がありました

― 決算認定の主な質疑 ―

▼介護サービス保険給付

問 介護予防訪問（通所）介護給付が前年比で大きく減額。一方で、訪問・通所型サービスが大きく増額されたのはなぜか。

答 給付型から介護予防生活支援サービスという事業型に移ったため。これからは、様々な予防事業を展開し、介護給付費を減らす方向にある。

▼観光ガイドスキルアップ事業

問 地方創生の補助金で、観光ガイドスキルアップ事業を実施した。会津大学の学生や先生よりアドバイスを受け報告書が上がっているが、今後どのように担当課と共有していくのか。

答 この事業は、地方創生に関する事務なので総務課で担当、今後産業課等々と情報の共有を図りながら成果を十分に生かしていく。

問 観光ガイドスキルアップ事業は、バスや乗用車の台数からの計上だが、猿遊号の来場者も計上しているのか。してなければ計上すべきでは。

答 今後できる限り精査し、入込数にカウントしていきたい。

▼地方創生推進交付金事業

問 湯野上温泉駅前整備概略設計業務で、駅前周辺の駐車場、遊歩道、夫婦岩展望施設等概略設計を実施したとあるが、議員に配布はしないのはなぜか。

答 議員の皆様は後日、配布する。

▼大内宿駐車場の借地料

問 大内宿駐車料金のアップにより1400万円の収入増。町に8%入っているが、駐車場の借地料（地代）として賄われているのか。また、駐車料金をこれだけ値上げして、20年間も8%というのはどうなのか。

答 8%の518万円が収納されている。借地料は23件で751万円を支払っている。また、トイレ設置や駐車場拡大の時に8%にした経緯がある。今後、大内区と駐車場協力金について協議を続けていく。



昨年料金をアップした大内宿駐車場



放課後子ども教室のようす

▼放課後子ども教室や児童クラブについて

問 放課後子ども教室や児童クラブは、現在保育化しているとの批判や、問題は多いと聞く。しかし、一人家に置かれる子どものことを考えるに、この措置は必要不可欠だと考える。希望がある場合、全員受け入れを行っているのか。

答 受け入れ拒否は、していない。

▼災害備蓄食料について

問 災害備蓄食料は、何食分で何日分あるのか。

答 アルファ米が3400食分、マジックライスが1100食分、いずれも保存期間は5年。パン関係が1236食分、汁物が1530食分、飲み物（水・野菜ジュース・粉ミルク等）5202本あり、何日分とは人数によっても変動するため、わかりかねる。

▼有害鳥獣捕獲隊報奨金

問 捕獲頭数、ツキノワグマが25頭、ニホンジカとイノシシが0頭、ニホンザルが12頭と出ているが、なぜイノシシ等がゼロなのか。一頭も獲っていないかったのか。

答 ニホンジカとイノシシは、県の指定管理捕獲となっている。県によると、捕獲した町内頭数は、イノシシ37頭、ニホンジカ26頭となっている。

一般質問

4 議員が

町政を問う

9月定例会では、4人の議員が9件の一般質問を9月12日に行い、活発な議論を展開しました。7ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

星 輝夫（7ページ）

- 国道121号線大内入口の交差点改良工事について
- 町内の小学校へのエアコン設置について
- あいづふるさと基金の使い道について

山名田久美子（9ページ）

- 町内公共施設のエアコン設置状況について
- 市町村対抗県大会の経費について

小椋 淑孝（8ページ）

- 消防団員の出動手当について

玉川 邦夫（10ページ）

- これからの高齢者支援体制づくりについて
- 農業振興に向けた支援について
- 「鏡が沼」の観光資源について



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることです。



星 輝夫 議員

teruo hoshi

質問

大内入口の交差点改良工事の進捗状況は

答弁

測量設計業務委託を発注

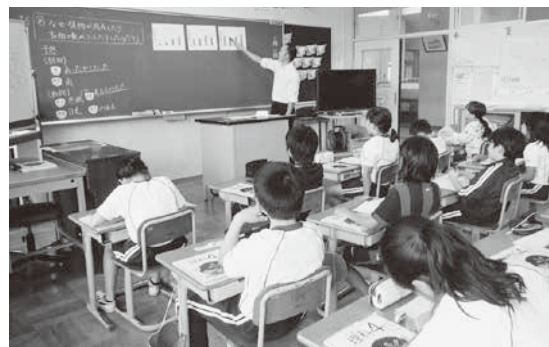
問

国道121号線大内入口の交差点改良工事については、県から現地測量の予算が計上されたと聞いた。現在の改良工事の進捗状況について、町が県から得ている情報を伺う。

答

測量設計業務委託が発注され、県内のコンサルタント業者と契約している。業務内容は、現地測量及び交差点詳細設計、土地所有者確認及び会津鉄道との協議のほ

かに、国道121号、県道湯野上会津高田線との交差点部への左折、右折車線の検討及び町道湯野上小野線との取りつけ等も含まれているようである。計画は確定ではありません。契約工期は30年7月2日から31年1月4日まで。なお、国道交差点の改良工事の予定は、まだ県から情報が提供されていないので、今後も当該箇所の工事等の早期着手を強く県へ要望していく。



暑い中勉強する子供たちに
救いの手を

質問

基金事業の廃止に伴う
返戻金の使いみちは

答弁

南会津広域消防庁舎建設負担金
防災安全交付金事業等へ

問

あいづふるさと市町村圏協議会における基金事業の廃止に伴い返戻金約7223万円の使いみちは。

答

30年度の歳入において財産収入として受け入れ、南会津広域消防庁舎建設負担金、防災安全交付金事業等へ充当している。

質問

小中学校のエアコンの設置率は

答弁

小中学校で5台 設置率5・6%

問

本町の小中学校のエアコン設置率、公立小中学校の設置率、会津管内の設置率を伺う。また、国では補助金を出すといっているので、対策を講じてほしい。

答

3つの小学校のパソコン室に各1台ずつ、中学校のパソコン室に2台、合計5台設置。全教室（教室28

室、特別教室62室）からみた設置率は5・6%となる。他市町村の設置率は、県の中間取りまとめでは県平均設置率57・3%、会津管内では9・3%。学校設置者としての町の考えは、異例の猛暑の中で、子供たちのために教育環境の向上に努めることは大変重要な町の責務である。学校間の公平性確保のため全校一斉に設置するのが望ましいが、その分莫大な財源も必要。設置については、台数の検討や高圧電源設備の改修等から各小中学校の調査設計をし、全体計画を策定する必要がある。また国県の動向を注視し補助金等の積極的な活用を検討していく。

答
教育長

国の補助や起債等を勘案しながら、早急な対応をしていきたい。



小椋 淑孝 議員

hidetaka ogura

質問

消防団員の出勤手当をアップさせることはできないのか

答弁

特別報酬審議委員会で検討する

問

下郷町消防団員の活躍は、町長もご存知の通り小型ポンプ操法部門において、南会津地方代表で県大会に2回連続出場している。操法練習となると、早朝5時から開始し、大会出場チームは勿論のこと他の消防団員も日替わり当番で、応援や手伝いを行っている。平日の早朝練習ですから、団員は仕事の前に協力活動しているのでボランティア活動だが、消防団員

の方々は役目だから仕方ない事と割り切って活動しているが、若い世代の子は消防活動は大変だと認識している。いざ火災現場に出勤すれば、火を消さなければならぬ使命感を持ち活動し、人探しなど搜索活動も行う。

過去2回、定例会で質問致しました消防団員の出勤手当の件ですが、手当支給される消防活動で午前中で終わらない、午後までかかる活動があると

答

消防団員の皆様には本業を持ちながら、自分たちの町は自分で守るという郷土愛護の精神に基づき、消防防災に関する消火、水防活動に従事し、地域における消防力、防災力の向上や地域コミュニティの維持、振興において重要な役割を担っていた

消防団員の出勤手当について、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び消防団設置等に関する条例に基づき、費用弁償として出勤手当を支給している。南会津郡内を見ますと、南会津町が1日4200円、只見町が1日6000円、

檜枝岐村が1日4200円となっており、本町の1回2200円は南会津管内においては最も定額となっているが、会津管内に目をやると、本町の1回2200円よりも低額な市町村が多くみられる。

問

下郷町消防団員の出勤手当は1日ではなく、1回と認識している。南会津管内で言うと、南会津町は1日4200円、午前中終了だと半額、只見町も1日6000円、半日だと3000円、これは1回ではなく、1日。本町は1回2200円、1日出ても2200円と近隣町村

違っている。なぜ、同様にできないのか伺う。

答

結論を先に言いますと、特別報酬審議会が開催されたのが平成10年。消防団員の報酬も特別報酬審議会にかかるので、あらゆる報酬の検討をしなくてはならないので、時間が必要なことと、様々な非常勤特別職の関係の日当も検討しなければならぬ。間違いない審議会を開催して、非常勤特別職の日当等あるいは報酬等も含めて、検討させていただく。



南会津郡3町1村消防団春季連合検閲式の様子

質問

各学校の保健室だけでも設置しては

答弁

保健室だけでも早急に対応したい

問

今年の夏、全国的に記録的な猛暑に見舞われ、町内において例外なく、6月の最高気温は33度（1日間）7月では35度（5日間）を記録している。

都内小学校では、課外授業終了後小学1年生の児童、そして岐阜市の病院ではエアコンのない病室で5名の患者が熱中症の疑いでと尊い命が奪われた。



山名田 久美子 議員

kumiko yamanada

県内において中・浜通りの学校では、2011年の震災後教室の窓を開けての授業が出来ないとの理由で、エアコンを設置している。会津地方では、保健室に設置されているところはあるが、教室には設置されていない。町内では、保育所には設置されているが、小・中学校には設置されていない。そこで町内の公共施設のエアコン設置状況を伺う。



答

役場庁舎、ふれあいセンター、コミセン、田沼文蔵記念館、しもごう・湯野上保育所、いきいきランド下郷、老人福祉センターには設置されている。学校施設では、パソコン室のみとなっている。

問

各学校は、扇風機だけでなく設置していただきたい。また、給食センターは町の施設になるのか。

答

国の動向が見えない中で、総合教育会議で保健室だけでも早急に対応していきたいと考えている。給食センターも町の施設なので、今後対応していきたい。

質問

市町村対抗県大会の経費は

答弁

勝ち進めば交付要綱により対応

問

町を代表し参加している、第12回市町村対抗県大会軟式野球大会、第5回市町村対抗ソフトボール大会がそれぞれ開催される。

野球は、あづま球場やしらすわグリーンパーク球場など日帰りが可能。しかしソフトボールは、毎年相馬光陽ソフトボール場で開催され宿泊が伴う。勝ち進んでいくと選手の皆様の負担は大変になると考えられる。勝ち進み、経費が予算をオーバーするときの助成などはされているか伺う。

答

勝ち進んだ場合、その都度補助金交付要綱に基づき対応していく。平成27年度のソフトボールはベスト4まで勝ち進んでおり、宿泊費を増額して補助している。また、今年度からは大会参加の保険料は、補助対象とし

てソフトボール協会に助成を増額している。



町を代表し出場している選手たち



玉川 邦夫 議員
kunio tamakawa

質問

これからの高齢者支援体制づくりは

答弁

膝を交えた座談会を持ち

住民の理解と協力を得る

問

介護のために仕事を辞めたり、パートに変わった

たり、さらには老老介護と、苦勞されている方は増えつつある。そうした方への思いやりの福祉対策こそ「高齢者が健康で生きがいを持って暮らせる町づくり」と思うが、町長の施策はあるのか。

答

個人負担への助成は困難であるので、地域の取組の活発化を目指す。行政区が主になる第2層協議体をしっかりと確立させ、様々な団

体からの協力体制を築いていきたい。

問

5年前と比べ、介護認定者が472人と若干減っているが、給付金は8・3億円と2億円ほど増えている。この数字をどう解釈すればいいのか。

答

認定者の減少は、町の介護予防事業の成果と認識している。給付金の増加は、近年の介護施設の増加、利用者の増加が主な要因と捉えている。

質問

農業振興に向けた支援策を明確に

答弁

耕作放棄地解消支援事業を

積極的に進めて行く

問

町は「農業再生協議会」において耕作放棄地解消の支援を行ってきたが、平成30年度で打ち切られる。支援継続の考えはあるのか。

答

国は次年度も継続するかどうかは、現段階では不透明である。町としては、27年度から町単独で「耕作放

問

棄地解消支援事業」を実施してきているので継続する考えである。

質問

鏡が沼を身近な観光スポットにできないか

答弁

林道整備を図りながら一層観光の磨き上げをする

問

標高1300mを越える森林地帯。ブナ林での森林浴。会津中街道の一里塚。さらには、モリアオガエルの生息地。目の前に広がる神秘の湖。大峠ならではの大自然を体感できる。この「鏡が沼」をもっと気軽にに行けるようシャトルバスを走らせる

答

林道終点まで6kmの急峻で狭い山道。安全性から観光バスとして走らせることは困難と考えられる。しかしながらこの魅力豊富な観光資源を生かせるよう磨き上げを図る。



大峠から望む鏡が沼

町村議会広報研修会の報告

10月10日(水)
東京都
シェンバツハ・サボー

全国町村議会議長会の主催で、町村議会広報研修会が開催され、議会広報常任委員会が出席しました。

研修会では、3名の講師による講演が行われました。各委員から、私たちの議会広報づくりに生かしていきたい事項などを伺いました。

1 「読み手に伝わる文章の書き方」

講師：前田 安正 氏

(朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長)



2 「デザイン力で、もっと伝わる議会広報誌に」

講師：筒井 美希 氏

(株式会社コンセントアートディレクター)



3 「最優秀賞及び優秀賞(総合2位)作に見る 光彩を放つ編集力」

講師：長岡 光弘 氏

(グラフィックデザイナー)



議会広報づくりに生かしたいこと

▼基本的なことを大事に

読み手に伝わる文章の書き方を、演習を通して理解することができた。主語に付く「が」とか「は」により、後の述語の意味合いが異なる。読点(、)の打ち方で言葉の強調が変わる。といった基本的なことをこれからの広報づくりに大事にしていきたい。文章を書く…主語と述語をしっかりと対応させる。文章を直す…伝えるべきことを前に出すこと。

▼政策評価の検証を

政策提言された内容がどう具体化し、実践化されて、どの程度の成果が見られたかを検証している議会広報が紹介された。

わが町でも「第5次振興計画」が町民に示されている。来年(31年度)が最終年度を

迎えることから、議員はこれからの政策提言にしっかりと目を向け、執行部と共に政策評価していく重要性を感じた。

▼デザインの力でもっと もっと伝わる議会広報誌を

美的センスや造形力が必ずしも必要ではない。伝えたい内容をはっきりさせることが大切である。と言われたが、やはり研鑽を積んでいくことは、大切であると感じた。



一般質問のその後を追跡!

なったの

【その後は】

8月23日に第1回総合教育会議開催。はじめて協議事項に「学校規模の適正化や少子化に対応した学校教育の充実策」について協議された。国から示された実態調査や、今後6年間の児童生徒の推移と1学級の人数の推移などのデータを示しながら、今後の学校教育について話し合いが行われた。

今後も継続的に協議がなされ、次回は11月に予定されている。

◆総合教育会議…平成27年4月からの法律改正・施行により、町長と教育委員会とが教育政策について協議・調整する場ができた。町長が公の場で教育施策について議論することが可能となり、これまで以上に町長と教育委員会の連携が期待される。

なったの

【その後は】

湯野上区が、町LED防犯灯設置促進事業補助金を活用し、寄上・川向地内に10基設置された。

◆補助の額は、設置費用の3分の2以内で、1基当たりの限度額は、既存支柱等に設置した場合は2万円、新たに支柱を立て設置した場合は5万円となる。
(詳しくは町民課生活安全係へ)



真っ暗な歩道が解消された

なったの

【その後は】

事業実施に向けて準備期間中。

担当からは、事業実施に向けて準備期間中との回答だが、道路を利用している町民からは、財源を確保して早急に事業実施していただきたいと声が上がっている。



特別 企画

あの質問はどうなった？

小学校統合問題

【質問】 (平成28年9月定例会) (平成29年12月定例会) (平成30年6月定例会)

少子化が加速し、小学校の新入生は一桁台で、3校合わせても20人前後。複式学級の心配が出てきている。

町長は小学校の統合について、どう考えているのか。教育委員会では統合問題について、どのような話し合いがもたれているのか。

【回答】

今後検討していく。

どう

県道の街路灯設置は

【質問】 (平成29年12月定例会)

県道田島高隲線の一部は歩道が整備されたが、街路灯がないところがある。下校する児童・生徒だけではなく、観光客も真っ暗な歩道を歩かざるを得ない。この状況をどのように考えるのか。

【回答】

基本的に集落等で負担し設置することになる。

道路管理者は、街路灯設置は行わない。防犯灯であれば、LED防犯灯設置推進事業補助が該当する。行政区で街路灯などを整備し、補助金・助成事業を該当させ実施している。

どう

湯野上中山線の 拡張工事の

【質問】 (平成28年6月定例会)

町道湯野上中山線の拡幅改良する考えはあるのか。

【回答】

現地地形を再調査し、待避所の増設が可能かどうか判断し、財源の事情が許すならば、改良を進めていきたい。

どう

総務 文教

定住促進と空き家対策及びふるさと納税 地方創生総合戦略、学校統合の取り組みを視察

9月26日(水)から28日(金)

▼定住促進・空き家対策 ふるさと納税について

石川県中能登町～人口確保が最大課題

中能登町は、平成17年3月に3町が合併し、当初は人口約1万9千人であったが、その後13年が経過し約1割の減少となる約1万7千人となっている。基幹産業は、農業と繊維産業である。そのため、繊維産業の発達により女性の働く場所が確保され、女性人口の比率が高く、石川県内では人口減少が少ない。町の発展には人口の確保が最大の課題とし、中能登町定住促進奨励金(住宅取得定住者に最大100万円、H29入居者数162人)や空き家バンク関連補助金(改修・解体)、ふるさと納税応援寄付金(トレイルランニングエンタリー券など)の支援対策を充実させ、人口流出に歯止めを掛けようとしている。また、

地域課題の取り組み相関図を作成するなど、今後参考にすべきと感じた。

▼人口減少に対する 移住定住促進の取組

石川県穴水町～分譲地無償提供

穴水町は「穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し課題に取り組んでいる。人口は約8300人で、町の将来目標人口(2040年5500人)を減少させないよう穴水ニュータウンを造成し、無償分譲事業として、町外からの移住者へ1区画を無償で提供、また子育て世代(転入者)の移住を促進するため、未利用町有地を活用して無償で宅地を提供している。さらに定住促進奨励金(新築住宅等に最大100万円)や新婚世帯家賃補助(3年間・1万円/月)など、町外



地方創生の取り組みについて説明を受けるようす

から移住者呼び込む施策を図っている。特に、無償分譲地は全8区画を整備し、現在6区画が譲渡済みである。ここに新たに6区画を整備し、本年より募集しているが、既に3区画が譲渡に向けて協議中で、更なる人口の増が見込めるとのことであった。今後、本町でも人口が減っていく中で、移住・定住の意欲を喚起する施策例として参考にしたい。

▼学校統合について

石川県志賀町

志賀町内では、町の中心部に点在した7校を1校に統合した。現在、児童数は約600名で22学級となる。統合に至るまでは、保護者へのアンケート調査や各地域の意見を取り入れながら計画を進めていった。地域への説明責任とそれにかかる保護者の意見集約に大変なものがあつたようである。また、大きな課題は通学方法であつた。現在は、スクールバス12台、13ルートで運行している。新しい学校づくりとして、保護者と職員の創意工夫で、将来を見据えた学校づくりがあつた。統合後の問題として、学校行事における保護者の駐車場確保には大変苦慮しているようであつた。また、旧校舎の施設管理にも苦労していた。今後の事案対応として参考となった。

産業 厚生

広域観光の展開及び観光の魅力向上、滞在型観光施設の指定管理の取り組みなどを視察

8月28日(火)から30日(木)

▼観光入込客数
約15万人から約60万人へ

北海道木古内町～道内最初の駅

木古内町は、人口約4200人、函館市から車で約50分、JRで約45分の場所に位置している。平成28年3月には北海道新幹線が開業、道内最初の駅として近隣市町村を繋ぐ大きな役割を担っている。また、高規格道路「函館・江差自動車道」が近々開通される。

そこで新幹線開業までに、広域観光の展開及び木古内観光の魅力向上について戦略的に施策を推進していく必要があることから「広域観光」と「木古内観光（通称・木古内感動戦略）」2種類のアクションプランを策定し時間軸を意識した計画的な事業展開を図った。開業前の観光入込客数約15万人（H27）から約60万人（H29）へと4倍も増加している。また、木古内駅を核

とした駅周辺整備及び広域観光の取り組みとして、道の駅「みそぎの郷きこない」を駅前に建設した。渡島西部・檜山南部9町の広域観光拠点施設として、観光コンシェルジュが常駐し、特産品などを販売する物販コーナーやレストランが併設している。広域観光コンシェルジュの育成として、「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市部から意欲ある若者を招聘。インバウンドの受入体制整備の一環として、平成29年に外国語のできる人材を採用し、道の駅で外国人に対する観光案内を実施している。



道の駅多目的ホールで研修会を開催

下郷町は約10年後と想定される地域高規格道路、会津縦貫南道路（4・5工区）の供用開始に備え、町が通過のみとならぬよう大内宿をはじめとする主要観光施設へどのように誘導し、より多く観光客に滞在していただくよう更なる魅力向上を図り受入態勢を整える準備期と考えられる。

▼滞在型観光施設の

管理・運営

青森県外ヶ浜町

青森県外ヶ浜町の「おだいはオートビレッジ」は、滞在型観光施設として、平成8年に設置された。センターハウス1棟、コテージ（Aタイプ）5棟、（Bタイプ）5棟あり寝具・

食器等6名分常備。サニタリーハウス1棟は、飯事・トイレ・コインシャワー等24時間使用可能。オートキャンプ場20区画となる施設である。

平成30年4月から平館観光協会で管理運営され、職員5名（パート含む）にて対応している。以前は、民間会社への委託であった。平成28年の主な収入は、コテージ売上約50%、町からの指定管理料約24%、支出は人件費約40%、委託費約20%で僅かながら黒字経営となっている。県内外への売込策として、CM・ラジオなどを行っており、委託費の9割が広告宣伝費となっている。

利用者状況は、コテージが県内約85%、県外約15%、キャンプ場は、県内約78%、県外約22%と県内の利用客が多かった。

クラインガルテン下郷の将来を見出すには、引き受け手となる民間企業が町に存在するのか又は外ヶ浜町を参考にする今後の調査研究としたい。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

歩こう！ 柗原の自然と歴史を探して 9月16日

宿駅ならはら元気会が主催するウォーキングイベントは、今年で12回目となる。スタッフは80名。

6kmコースは、森の案内人と観光ガイドの説明を聞きながら112名が、10kmコースは健脚39名が歩いた。

ゴールには、米2斗7合分のしんごろうと手打ちそばが待っていた。このイベントは毎年楽しみにしている人も多い。皆様もいかがですか。



西木戸塚にて

みゆ〜じゅつく（魅湯宿） 9月29・30日



大内宿町並み展示館前で開催

湯野上温泉と大内宿を音楽で結ぶ初の音楽フェス。下郷町の観光PRソング「ただいまの場所」が披露されました。

初めてのことで、いろいろと課題は残りましたが、皆様の協力で無事終えることができました。今後も開催したいと考えておりますので応援よろしくお願いします。と話す実行委員会の皆さんでした。

議会からのお願い

議会だより取材のため、議会議員（広報常任委員）が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は12月上旬になります。

お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

議会広報常任委員会

委員長	山名田	久美子
副委員長	玉川	邦夫
委員	猪股	謙喜
委員	小椋	淑孝

議会広報用にと、あちこちに出没し写真を撮っています。一枚の写真には、多くの情報詰まっています。季節や時代、風俗、誰が参加して、その時の気持も。言葉で説明するよりも視覚のほうが分りやすい時があります。笑顔は伝染すると思います。いろんな写真を撮りますが、笑顔が撮れた時が一番嬉しいです。もし、私にカメラを向けられたら、その時は笑顔で応えて下されば幸いです。（猪股 謙喜）

編集後記